

福岡県公安委員会活動状況

<定例会の主な議題及び要旨>

平成29年12月7日（木）

【協議事項】

1 指定暴力団五代目工藤會の特定危険指定暴力団等としての指定期限の延長について （暴力団対策部）

警察本部から「指定暴力団五代目工藤會については、引き続き特定危険指定暴力団等の要件該当暴力行為を行うおそれが認められることから、指定期限を1年間延長するものである。御審議をお願いする。」旨の説明があった。

公安委員から「工藤會が存続する限り、「危険」はなくならないと思うが、特定危険指定を含む対策の最終目的は工藤會の解散となるのか。」旨の発言があり、警察本部から「「おそれ」継続の判断については、様々な要素を総合的に検討した上で行っているが、県警察としては最終的には工藤會の解散を目標としていきたい。」旨の説明があった。

公安委員から「工藤會が特定危険指定されているということが、住民の安心感につながっていると思うので、引き続き法律を厳格に解釈し、適正に指定を行っていきたい。」旨の発言後、本件は了承された。

【報告事項】

1 城南（仮称）警察署建設候補地に係る調査結果について

（警務部）

警察本部から「早良警察署を分割し、新設方針である城南（仮称）警察署の建設候補地については、管内に著しい地理的な偏りが生じないことなどを条件として調査した結果、福岡市城南区七隈所在の福岡大学所有地の適地性が高いと認められた。今後、同地を最有力候補地として関係先と協議を進めていく。」旨の報告があった。

公安委員から「病院や駅等の公共機関も近くにあり、適切な候補地だと思う。」「建設予算は県と国から措置されるのか。新設による増員で人件費が増加するのか。」旨の発言があり、警察本部から「建設は県予算によるが国費の補助がある。また、早良警察署の分割であり、城南（仮称）警察署の新設による増員はない。」旨の説明があった。

2 非行集団による監禁・強盗傷人等事件被疑者の逮捕について

（生活安全部）

警察本部から「小倉北警察署ほか2警察署及び少年課は、北九州市小倉南区等に居住する非行集団による監禁・強盗傷人等事件について、12月4日までに、飲食店従業員の男性ほか少年を含む4人を検挙した。」旨の報告があった。

公安委員から「本件の集団以外にも、非行集団はあるのか。」旨の発言があり、警察本部から「被疑者らには広い交友関係があると見ており、今後の捜査の過程で非行グループの実態等について明らかにしていきたい。」旨の説明があった。

公安委員から「以前はこのようなグループは、暴走族として車両を乗り回すという示威行動があったが、本件グループではなかったのか。」旨の発言があり、警察本部から「今後の捜査で解明していくが、暴走行為の有無にかかわらず、県警察としては、凶悪犯罪を敢行するなどして地域の脅威となっている集団的少年非行グループの解体は、一つの目的として捜査を進めている。」旨の説明があった。

3 初任科生による見守り活動の実施について

(警察学校)

警察本部から「11月1日から11月20日までの間、警察学校初任科生等の警察官としての使命感の醸成を図るために、初任科生等による通学児童に対する挨拶や安全通行等の声かけ、地域ボランティアや小学校教職員と連携した活動等を実施した。今後も継続予定である。」旨の報告があった。

公安委員から「青少年の犯罪抑止にもかかわる良い取組であり、是非、続けていただきたいと思う。警察学校を卒業後、すぐに交番に配置されると思うが、地域連携を若いうちに経験しておくことで、今後の自分達の立ち位置が認識できてくると思う。」旨の発言があった。

4 警察学校における警察官魂の継承教養の実施結果について

(警察学校)

警察本部から「11月17日から11月24日までの間、福岡県殉職警察職員慰霊祭の開催に合わせ、全身全霊を捧げて職務執行中、志半ばにして亡くなられた諸先輩方の功績と慰霊祭の概要等について、教職員及び全学生を対象に教養を実施し、警察組織の一員としての帰属意識の醸成を図った。今後も工夫を凝らした教養を実施していく。」旨の報告があった。

【その他の報告事項】

- 警察本部長から「明日の県議会の代表質問において、県警察に対し、公明党から高齢者の交通安全対策についての質問が予定されており、適宜対応していきたい。」旨の発言があった。